

安倍・菅政治との戦いと  
民主主義の再建

# 1 安倍政権下の第2の敗戦

① 敗戦から75年： 無能な政府が国民を犠牲にする

- 敗戦に至る過程
- 現実の否認と情報の隠蔽： 大本営発表
- 政治と信仰の一体化： 国體護持、本土決戦、神風
- 主観的願望による政策立案： ソ連の仲介
- 一億総懺悔による責任のあいまい化

## ② コロナとの「戦い」をめぐる既視感

- 「日本モデル」という国體における自己責任論
- ワクチン開発という神風
- 東京オリンピック開催と本土決戦
- 検査抑制と大本営発表
- 国、東京都の喧嘩と陸海軍内紛
- 必ず出てくるだろう、一億総懺悔

# 世界に冠たる我が国體

- 「わが国では緊急事態を宣言しても、罰則を伴う強制的な外出規制などを実施できない。それでも日本ならではのやり方で、わずか1か月半で、今回の流行をほぼ収束させることができた。まさに『日本モデル』の力を示したと思う」

2020年5月25日安倍首相記者会見

### ③ 安倍はなぜ辞めたか

- 国民の不信感の広がり
- 政策的行き詰まり： コロナ対策 オリンピック  
経済の落ち込み
- 最長在位記録達成によりやる気を失った
- 敗戦直前の東条英機との類似

## 専制君主と化した安倍首相

- 「君臨」するだけで「統治」しない  
責任感と構想の欠如  
政策は側近の思い付きの羅列
- 議会からの逃亡 = 予備費10兆円と憲法53条違反
- 無答責の首相という矛盾

# 「民主主義の死に方」 （レビツキー、ジブラット）

- 民主主義が単なる多数決になれば、専制政治となる
- 自由民主主義を守る制度（憲法）と柔らかいガードレール（自制と慣習）
- アメリカにおける民主主義の危機：ルールに基づいた競争の結果を認めない
- 安倍が壊した日本の民主主義：首相への権力集中

# 大阪の住民投票の教訓

- **直接民主主義の危うさ cf ブレグジット**
- **統治機構改革という政治家の自己満足と空騒ぎ**
- **市民の良識と維新の衰弱**



### ③ 責任を論じることの重要性

- **安倍にご苦労様と言ってはならない**
- **責任を究明することなくして、政策がなぜ、どこで、どのように誤ったかは分からない**
- **責任が究明できなければ、人々は「騙された」ままで、同じ誤りを繰り返すことになる**

## 伊丹万作 戦争責任者の問題

- **だまされたということは、不正者による被害を意味するが、しかしだまされたものは正しいとは、古来いかなる辞書にも決して書いてはないのである。だまされたとさえいえば、一切の責任から解放され、無条件で正義派になれるように勘ちがいしている人は、もう一度よく顔を洗い直さなければならぬ。**  
しかも、だまされたもの必ずしも正しくないことを指摘するだけにとどまらず、私はさらに進んで、「だまされるということ自体がすでに一つの悪である」ことを主張したいのである。

続き

- **そしてだまされたものの罪は、ただ単にだまされたという事実そのものの中にあるのではなく、あんなにも造作なくだまされるほど批判力を失い、思考力を失い、信念を失い、家畜的な盲従に自己の一切をゆだねるようになってしまっていた国民全体の文化的無気力、無自覚、無反省、無責任などが悪の本体なのである。**

## 2 菅政治とどう対峙するか

### ① 菅政権誕生の経緯

- 安倍退陣と派閥ボスの談合
- 石破は嫌い、岸田は頼りないで、消去法の結果
- 自民党における派閥の融解

## ② 菅政治の特徴 官房長官の実績から

### i 説明責任の拒絶

- 記者会見における傲慢さ
- 問題ない、批判は当たらない、適切に処理している・・・
- 政治における論理、言語の破壊という大罪

## ii 独裁者風の権力行使

### 平嶋彰英 元総務省自治税務局長の証言

——平嶋さんは総務省の自治税務局長だった6年前、ふるさと納税を巡り菅官房長官に異を唱え、左遷されたと言われています。

「ふるさと納税は総務相を務めた菅さんの肝いりで、08年に創設されました。その後の14年、官房長官となった菅さんから、自治体に寄付する上限額の倍増などを指示されました。ただ、自治体から寄付者への返礼品が高額化し、競争が過熱する懸念があった。私は総務省通知と法律で一定の歯止めをかける提案をしましたが、菅さんは『通知のみでいい』とおっしゃいました」

- 「こうした『異例人事』は私だけではありません。だから、いまの霞が関はすっかり萎縮しています。官邸が進めようとする政策の問題点を指摘すれば、『官邸からにらまれる』『人事で飛ばされる』と多くの役人は恐怖を感じている。どの省庁も、政策の問題点や課題を官邸に上げようとしなくなっています」
- 「菅さんは人事でムチだけでなくアメも使う、と言われます。農水省や金融庁で、『番狂わせ』とされるトップ人事が官邸主導で行われたのはアメのケースでしょう。菅さんは、自分に徹頭徹尾従った人には人一倍の恩義を感じ、恩義に報いようとする。逆にもし抵抗すれば、干すという方だと思えます。これは公正であるべき人事がネpotayズム（縁故主義）になりかねません」  
朝日新聞9月12日

### iii 沖縄に対する冷酷

#### • 辺野古基地建設への執着

- 菅語録には忘れてはいけない言葉がある。戦後、米軍に土地を強制収用されて、基地を押しつけられたのが普天間問題の原点。そう訴えた沖縄県知事へのコメントである。「賛同できない。戦後は日本全国、悲惨な中で皆が大変苦勞して平和な国を築いた」▼地上戦そして米軍統治。本土とは異なる沖縄の人たちの辛苦を思い、問題に向き合った政治家がかつての自民党にはいた。新首相の師である故梶山静六さんもその一人なのだが。

朝日新聞9月17日 天声人語



## iv 言行不一致または強者の味方

- 地方出身、たたき上げという看板の虚偽
- 既得権打破とは何を意味するか
- ふるさと納税制度による富裕層の税逃れこそ、既得権の典型
- 自助が先頭に来る政治観

## V 自由を脅かす独裁者

- **学会議の人事をめぐる政治介入 = 学問の弾圧は全体主義の入り口**
- **学問の自由とは何か： 個々の学者の自由のみならず、学者コミュニティの自立**
- **民主主義における論争の必要性を理解しない首相**

# 議会政治における言葉の崩壊

- **政治におけるコミュニケーションの消滅**
- **思考力、表現力を失った指導者**
- **自民党における人材の枯渇**
- **長期政権の後は混乱が続くという法則**

### 3 日本の再建と野党の使命

#### ① 新立憲民主党の意義

- 野党陣営における保守二大政党論に終止符を打つ
- 政策：社会民主主義的政策による政権構想
- 政治路線：共産党を含む野党協力の延長線上で次期総選挙を戦うという前提

# 新党綱領案より

- (ア) 立憲主義に基づく民主政治
- (イ) 人権を尊重した自由な社会
- (ウ) 多様性を認め合い互いに支え合う共生社会
- (エ) 人を大切にしたい幸福を実感できる経済
- (オ) 持続可能で安心できる社会保障
- (カ) 危機に強く信頼できる政府
- (キ) 世界の平和と繁栄への貢献

## 原発ゼロを目指す

- 私たちは、地域ごとの特性を生かした再生可能エネルギーを基本とする分散型エネルギー社会を構築し、あらゆる政策資源を投入して、原子力エネルギーに依存しない原発ゼロ社会を一日も早く実現します。

## ② 野党結集の経緯

- 野党再編成の失敗の連続
- 2015年の安保法制反対運動から始まった新しい野党の建設
- 2017年、希望の党という保守二党への反動の試み
- 憲法擁護、リベラルな政党という方向性の明確化

### ③ 政権構 想と基本政 策

#### 1) 2009民主党政権の教訓

- 政権政策と通販カタログは違う
- 大事なものは、理念と方向感覚
- 「半分しか」できないのか、「半分も」できたのか



2) 大きく、有能な  
政府

- 格差と貧困に取り組む
- 機会の平等を実質的に確保する
- 税、社会保険料負担を全体としてとらえる = 消費税を単一争点にしない

### 3) 社会経済の 停滞から脱け出す

ジェンダー平等、多様性尊重により、日本の経済社会の因習を打破

新しい働き方と生き方による家族と会社の再生

政治行政の地方分権と地域分散経済

## 4) 市民連合の共通政策

### i 経緯

- 2019参院選の13項目から、コロナ危機を踏まえて拡充
- 立憲主義、安保法制から、社会経済政策への展開
- 野党再編成の状況に対して、立憲野党の立ち位置を提示する
- 総選挙における菅政権に代わるもう1つの選択肢

## ii 基本的な考え方

- 立憲主義を守り、議会制民主主義、法の支配の崩壊を食い止める
- すべての個人が尊厳ある生き方ができる社会をつくる  
ジェンダー平等 貧困対策 雇用のルール
- 地球的問題に取り組む  
地球環境問題 脱原発と分散型経済システム
- 平和を作り出す努力  
非核化 沖縄問題の解決 アジアにおける信頼醸成

### iii 今後の進め方

- **各党の選挙に向けた政策**
- **市民連合を媒介とした総選挙に向けた共通政策**  
短く、印象的な言葉で
- **都道府県レベルの市民連合と政党地方組織の共通政策**
- **小選挙区の統一候補と地域の市民連合の共通政策**

## ④ 小選挙区における候補者一本化

- **与党と野党共闘の一騎打ちの構図を作る**
- **次の政権に関する大きな枠組みの共有**
- **候補者擁立の過程から市民と野党の協力体制を作り出す**

# 政権交代が日本を救う

- **徹底的な情報公開と政治腐敗、権力犯罪の糾明**
- **国民の生命を大事にする政治の実現**
- **個人の尊厳が守られる風通しの良い社会**